

活動報告

団体名	熊本大学学生災害復旧支援団体「熊助組」
活動名	熊本大学学生災害復旧支援団体の熊本県内各被災地域のための長期的支援活動
活動期間	2016年10月～2017年9月
活動の成果	<p>当団体では4/14の前震の翌日15日から16日まで熊本大学へ避難してきた方への対応等、避難所運営を行いました。16-20日までは物資の搬入、搬出や熊本市東区でのニーズ調査を行い、21日から熊本市の災害ボランティアセンターの運営に携わりました。並行して4/22から5/8までは各市町村の社会福祉協議会と連携し、ボランティアの人手が足りない所を優先して毎日2,3の市町村へメンバーを派遣し、瓦礫撤去等の活動を行いました。9日以降は大学の講義再開のため主に土日の活動となり、各市町村の災害ボランティアセンターが閉鎖するまで活動を続けました。被災地のニーズが変化してきた7月末から現在までは被災地での夏祭り等の復興イベントへの参加や、東北大学など他大学や他のNPO団体等と連携して避難所や仮設団地で足湯やカフェ、子ども向けのイベント等を行いました。避難所や仮設団地での活動を通して子ども達への遊びの提供、住民の心のケア、コミュニティ形成に寄与することができました。2017年10月現在まで活動を続けており、今後も引き続き被災者の心のケアやコミュニティの形成、維持に寄与するために活動して参ります。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>まず初めにご寄付をいただいた方々に感謝申し上げます。全国からの支援があったからこそ活動を続けることができたと思っております。熊助組は熊本大学の学生によって組織されている災害復旧支援団体です。今年で10年目を迎える団体ではありますが、水害での活動が主であったため、地震を経験するのは初めてのことでした。そのため戸惑うことも多々ありましたが、多くの方々からのアドバイスを受け、試行錯誤しながら活動を行ってきました。仮設住宅では、コミュニティ形成のために、足湯や折り紙、カフェ活動を通して傾聴活動を行ってきました。様々な仮設住宅にお伺いする中で、仮設住宅ごとに違った問題があることを知り、これからも継続的な支援が必要となると感じました。今後も、熊本で学び地震を経験した学生として、地域に寄り添った活動を続けていきたいと思っております。引き続きご支援とご理解のほどよろしくお願いいたします。</p>

(活動のようす)

